



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所
コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 生越 勝弘

TEL 06-6538-7719

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,554	7.2	584	8.7	442	34.5	702	43.0
25年3月期第1四半期	19,179	7.4	538	—	328	—	491	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,198百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △324百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.31	—
25年3月期第1四半期	3.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	124,238	46,837	37.4
25年3月期	129,934	45,905	35.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 46,500百万円 25年3月期 45,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	△5.8	1,400	△46.9	900	△60.4	800	△49.0	6.05
通期	99,000	0.8	4,500	△23.6	3,500	△36.7	3,000	3.5	22.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	133,984,908 株	25年3月期	133,984,908 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,784,037 株	25年3月期	1,783,413 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	132,201,046 株	25年3月期1Q	132,211,494 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、成長戦略の期待感を背景に円安の進行や株価の上昇等、緩やかな持ち直しの傾向が見られる一方で、ユーロ圏や一部の新興国、資源国など海外経済の減速懸念等により、先行きの不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、平成24年度を基点とした中期3カ年計画の2年目にあたり、「企業体質の変革」「収益力の増強」を全グループ活動として、生産性向上による利益確保・市場創造による事業規模の拡大に取り組んでおります。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は鉄管部門で補正予算編成に伴う発注が堅調であったこと、機械部門で海外向け粉体機器、鍛圧機の増加、化成品部門で農水向け製品の出荷増などにより、売上高は前第1四半期連結累計期間比1,374百万円増収の20,554百万円となりました。

利益面では増収による増益などにより、営業利益は584百万円(前第1四半期連結累計期間比46百万円増益)、経常利益は442百万円(前第1四半期連結累計期間比113百万円増益)となりました。四半期純利益は、繰延税金資産の積み増しに伴う法人税等調整額を戻し入れたことにより、702百万円(前第1四半期連結累計期間比211百万円増益)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、バルブ部門において、電力・鉄鋼分野での売上が減少となりましたが、鉄管部門において補正予算編成に伴う発注が堅調であったことなどにより、前第1四半期連結累計期間比514百万円増収の11,029百万円となりました。

営業利益につきましては、鉄管部門において増収により増益となったものの、バルブ部門で減収による減益に加え、売上構成の悪化などにより、前第1四半期連結累計期間比40百万円減益の254百万円の営業利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、化学装置部門において、工事進行基準物件の売上が減少しましたが、機械部門において海外向け粉体機器、鍛圧機の増加などにより、前第1四半期連結累計期間比475百万円増収の5,233百万円となりました。

営業利益につきましては、増収による増益などにより、前第1四半期連結累計期間比16百万円増益の180百万円の営業利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、化成品部門において、夏期の電力需給逼迫懸念から工事の前倒し発注による電力向け製品の増加および、農水向け製品の出荷増に加え、建材部門において高速道路向け消音製品の出荷が前倒しになったことなどにより、前第1四半期連結累計期間比385百万円増収の4,290百万円となりました。

営業利益につきましては、増収による増益に加え、各種原価改善などにより、前第1四半期連結累計期間比142百万円増益の183百万円の営業利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品などが増加した反面、受取手形及び売掛金などの減少により、前連結会計年度末比5,695百万円減少の124,238百万円となりました。

一方、負債におきましては支払手形及び買掛金、短期借入金などの減少により、前連結会計年度末比6,627百万円減少の77,400百万円となりました。

純資産におきましては、四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金などの増加により、前連結会計年度末比931百万円増加の46,837百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より960百万円減少の18,129百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は2,666百万円となりました。これは売上債権の減少による資金の増加、たな卸資産の増加による資金の減少、仕入債務の減少による資金の減少などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は477百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出、資産除去債務の履行による支出などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は3,154百万円となりました。これは主に短期借入金、長期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想は平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,111	18,151
受取手形及び売掛金	39,629	32,424
商品及び製品	9,034	11,066
仕掛品	6,877	6,786
原材料及び貯蔵品	2,269	2,258
その他	2,251	2,589
貸倒引当金	△98	△91
流動資産合計	79,075	73,185
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,870	19,870
その他(純額)	16,387	16,296
有形固定資産合計	36,257	36,166
無形固定資産		
その他	196	218
無形固定資産合計	196	218
投資その他の資産		
投資有価証券	11,408	12,087
その他	3,486	3,136
貸倒引当金	△491	△556
投資その他の資産合計	14,403	14,667
固定資産合計	50,858	51,052
資産合計	129,934	124,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,835	26,126
短期借入金	29,189	27,276
未払法人税等	561	108
引当金	2,127	742
その他	5,789	6,514
流動負債合計	66,503	60,769
固定負債		
長期借入金	13,271	12,296
退職給付引当金	3,299	3,321
その他の引当金	7	7
その他	947	1,006
固定負債合計	17,524	16,631
負債合計	84,028	77,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,959	6,959
利益剰余金	6,530	6,968
自己株式	△388	△388
株主資本合計	44,288	44,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,298	1,774
その他の包括利益累計額合計	1,298	1,774
少数株主持分	319	336
純資産合計	45,905	46,837
負債純資産合計	129,934	124,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	19,179	20,554
売上原価	14,351	15,513
売上総利益	4,828	5,041
販売費及び一般管理費	4,290	4,456
営業利益	538	584
営業外収益		
受取配当金	44	55
その他	88	93
営業外収益合計	132	149
営業外費用		
支払利息	144	124
為替差損	71	—
その他	125	167
営業外費用合計	342	291
経常利益	328	442
特別損失		
投資有価証券評価損	3	—
減損損失	0	0
その他	0	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	324	442
法人税、住民税及び事業税	73	76
法人税等調整額	△241	△357
法人税等合計	△168	△280
少数株主損益調整前四半期純利益	492	722
少数株主利益	1	20
四半期純利益	491	702

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	492	722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△817	476
繰延ヘッジ損益	0	—
その他の包括利益合計	△817	476
四半期包括利益	△324	1,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△325	1,178
少数株主に係る四半期包括利益	1	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	324	442
減価償却費	534	551
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△70	58
受取利息及び受取配当金	△45	△74
支払利息	144	124
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	9,496	7,037
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,952	△1,929
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,368	△2,790
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	97	21
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	3	—
有形及び無形固定資産除却損	8	17
その他	△1,093	△431
小計	3,078	3,026
利息及び配当金の受取額	191	234
利息の支払額	△146	△126
法人税等の支払額	△191	△468
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,933	2,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1	△1
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	0	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△240	△500
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	3
関係会社の減資による収入	79	—
資産除去債務の履行による支出	—	△120
貸付けによる支出	—	△100
貸付金の回収による収入	3	0
その他	31	241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126	△477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,025	△1,782
リース債務の返済による支出	△13	△16
長期借入れによる収入	—	80
長期借入金の返済による支出	△1,172	△1,185
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△248	△247
少数株主への配当金の支払額	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,461	△3,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△701	△960
現金及び現金同等物の期首残高	19,646	19,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,945	18,129

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,515	4,758	3,905	19,179	—	19,179
セグメント間の内部売上 高又は振替高	44	9	177	230	△230	—
計	10,559	4,767	4,082	19,409	△230	19,179
セグメント利益	295	163	40	499	38	538

(注) 1 セグメント利益の調整額38百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額151百万円及びたな卸資産の調整額△123百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,029	5,233	4,290	20,554	—	20,554
セグメント間の内部売上 高又は振替高	62	—	340	403	△403	—
計	11,092	5,233	4,631	20,957	△403	20,554
セグメント利益	254	180	183	618	△33	584

(注) 1 セグメント利益の調整額△33百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額206百万円及びたな卸資産の調整額△253百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。